

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



親から子へ

私が小学生のころ、母親から、「箸を正しく持ちなさい。」とよく言われたものだ。特に母親は、食事のマナーにはうるさく、器を持って食べていなかったり、ひじをついて食べていたりすると、すぐに注意された。

今となっては、母親に厳しく言われていてよかったと思えるようになってきたが、その頃はごはんを食べるのも気をつけなければならず大変だった。中でも私が一番苦労したのが、箸の持ち方である。私は箸と箸の間が開かずくっついた持ち方をしていたが、何をつかむのにも困ってはいなかった。だから、直さなくてはいいないという思いがあまりなく、母親が見ていない時は慣れた持ち方で食べていた。しかし、見つかるとうすぐに正しい持ち方に直すよう注意された。豆をつかむ練習もたくさんしたが、結局正しく箸を持つことができたようになるまで、何年もかかったように思う。

そして、今。私はわが子に母親

と同じ事を言っている。娘もやっぱ箸の持ち方に苦労しているようだ。私が注意をし始めてもう何年も経つが、まだ正しく持てない。親子で似てほしくないところは似てしまうと思うが、本当だと思う。

最近、小学生の時の友達と話をする機会があった。小学生のころの話で盛り上がっていると、いつしかお互いの母親の話になった。その友達は、なぜか私の口うるさい母親をうらやましかつたと言ったのでびっくりした。私の母親は、そのころ近所でも有名なくらい厳しかったのだ。でも、そんな母親がよかったと言われると、悪い気はしない。

私自身が箸の持ち方に苦労した分、すぐにはできないことの苦しみもわかる。娘にできないことはないしと励まし、そして直そうと努力していなかったら叱る。年老いて少し丸くなった母親から私に「口うるさい母親」のバトンタッチである。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

大野小学校 頼信 百合子

のびのびひろば

(上齋原幼稚園)

がんばるぞ!!

忍者修行

いいよ!

持ってちょうだい!

交流会

たのしかったよ!

牛乳パックで船づくり

また
会おうね!

郷幼稚園と交流会をしました。

クラスに分かれて活動したり一緒にプールで遊んだり...
とても楽しい時間でした。

プールたのしい♪